

## トルドー政権の所信表明 石油資源のカナダ化など推進

今年の二月に選出されたトルドー政権は、四月十四日、第三十二議会の開会に当たり、インフレ対策、エネルギーの国内価格、代替エネルギーの開発、憲法改正などを中心とした所信表明を行なった。エドワード・シユライヤー総督が読み上げた所信表明の内容は要旨次の通り。

一、政府は現在の経済状況の下で最も困っている人々を優先的に救済する措置を講ずる。

一、カナダの国内状況に合った国内石油価格を設定する。この価格は、石油の生産州および生産会社とその資源と投下資本に見合う利益を得る権利を反映するものとする。石油会社のコスト、利潤、投資額、カナダ資本の比率などを調査する石油価格監査庁を設ける。輸送機関の石油・ガソリン消費を節約するため、自動車に対する強制燃料効率基準を設定する。

一、州政府と協力して、石油から他のエネルギー源へのできるだけ速やかな移行を奨励する措置をとる。またケベック州および大西洋諸州への天然ガス・ハイフライの早期実現を期待する。石油公

社ベトロ・カナダを維持し、同公社が外国供給者と石油購入の交渉および契約に積極的に取り組めるべく、その権限を拡大する。新石油・天然ガス法を制定し、(石油・天然ガス開発に関して)ベトロ・カナダおよび国有地で営業する他のカナダ系会社に優先権を与える。新しい、しかも再生可能な石油代替エネルギー源の開発を促進するため、代替エネルギー開発公社を設立する。一九九〇年までに石油産業におけるカナダ資本の比率を五〇パーセントまで引き上げる措置をとる。

一、天然資源を基礎に、活発な産業振興策をとり、雇用の増進、経済成長の向上、地域間バランスの改善、経済のカナダ化の推進を図る。その一環として、農産物輸出公社を設立する。

一、科学技術の発展に力を入れる。またカナダ産業の競争力を高めるため、国営商社を設立する。団体交渉制度を改善するため、労働情報局を設ける。外国投資審査法を改め、大手外国企業がカナダに相当の利益をもたらしているかどうかを再審査できるようにする。

一、議会における代表制および責任制が最高度に機能するように、選挙制度を調査する委員会を議会

に設置する。連邦制度再生のため、憲法改定への作業を再開する。二つの主要言語グループの最大限の発展と文化的モザイクの振興に力を入れる。

一、情報公開法を制定して、国民が政府の資料に接し、また政府が個人についても持っている情報に接することを可能にする。

一、積極的な外交政策を展開する。北大西洋条約機構(NATO)の強化を図るとともに、核の脅威を排除するため、外務省内に軍縮担当大使を創設し、軍備制限および縮小に関する国際交渉を積極的に支援する。

## 自由党、一議席を追加

トルドー首相の率いる自由党は、三月二十四日、ケベック州で行なわれた臨時選挙で一議席を追加、下院の同党勢力を一四七に伸ばした。ケベック州のフロンテナク選挙区では、先の総選挙の最中に候補者が死亡したため、改めて選挙を実施したもの。これで自由党はケベック州七五議席のうち、七四議席を制したことになる。

## ニューファンドランド沖に油田

## 二億バレル以上が採掘可能?

長い間経済的に恵まれなかったカナダ最東のニューファンドランド。その州都セント・ジョンズの南西三二〇キロにあるヒバーニア0-15鉱区で、昨夏、シエプロ

ン・スタンダード社(本社カルガリー)が石油を掘り当てたことから、同州の将来はにわかにも明るくなった。

昨年十二月のテストで、主要な油層が日産二六〇〇バレル以上の流出量を記録し、シエプロ社は商業的に採算がとれると発表した。ニューファンドランド州政府の試算によると、同地区で二億五千万バレルから一五億バレルの石油が回収できるという。

## 大阪でカナダ学会の年次大会

日本カナダ学会第四回年次大会が三月末、大阪で開かれ、カナダ文学、労働災害対策、宗教とカナダ社会、カナダ史などについて講演と研究発表がなされた。

また同時に開かれた総会で、新会長に平野敬一(東大)、新副会長に小浪充(東外大)と伊藤勝美(近畿大)の各氏が選任された。これに伴い、事務局も津田塾大学から東京外国語大学の小浪研究室に移された。

## 下院議長にソーヘ女史

カナダ連邦議会の下院議長に、初めて女性が就任した。下院は日本の衆議院に相当する。

新議長になつたのは、前トルドー内閣で科学技術大臣、環境大臣、通信大臣を歴任したジャンヌ・ソーヘ女史。一九七二年に政界入りをするまで、公営放送CBCでジ



ャーナリストとして活躍していた。弁護士以外の方が下院議長に就任するのも初めてのことである。

なお、第四期トルドー内閣には、女性が二人——モニク・ペガン厚生大臣とジュディ・エロラ鉱山担当国務大臣——が入閣している。

## 「赤毛のアン」のそっくりさん プリンス・エドワード島から来日

前号でお知らせした劇団「四季」のミュージカル「赤毛のアン」全国公演のPRのため、「アン」の故郷「プリンス・エドワード島から「アン」のそっくりさんが来日した。四年前、プリンス・エドワード島のケイブンディシユで五年ごとに行なわれる「アンそっくりさんコンテスト」で優勝しただけあって、彼女ヘザー・マクニールさん(写真)は、ルーシー・モンゴメリーの描く「赤毛のアン」のイメージにぴったり。小柄で顔にはソバカス、つんとそつた鼻、髪はむしろりん(シン)色(本当はかつら)。プリンス・エドワード大学の三年生で、ルーシー・モンゴメリーの遠縁にあたるという。マクニール